

第54回技能五輪全国大会結果報告

山形県で58名(配管職種)の青年配管技能者が熱戦を展開!!

関根雄太選手(東京)が金賞・厚生労働大臣賞を獲得

第54回技能五輪全国大会(主催:厚生労働省・中央職業能力開発協会、山形県、後援:国土交通省、経済産業省他、協力:全管連他)は、10月21日から10月24日までの4日間にわたって、山形県を中心に開催されました。



競技の様子



公開水圧審査の様子

現役高校生5名、女性3名が出場

この大会は、青年技能者の技能レベルを競うことにより、青年技能者に努力目標を与えるとともに、技能尊重気運の醸成を図ることを目的とし、技能検定2級レベルの実技で実施される都道府県の予選で優秀な成績を収めて選抜された全41職種・1,318名の選手が競技に臨みました。

配管職種は、山形県寒河江市のチェリーナさがえを会場に、全国から58名の精鋭が競技に臨み、現役高校生5名、また女性も3名が参加しました。

また、競技会場には、ブラジル(サンパウロ)で開催された第43回技能五輪国際大会に出場し、銅メダルを獲得した新潟県(株)千代田設備 清水龍二氏の実物作品を展示したことで国内と国際大会の課題の違いもわかり、来場者も熱心に見学していました。

6時間40分の競技時間 課題への取り組みは選手各様

10月21日(金)に選手による競技場所の抽選、工具展開等が行われ、翌22日(土)に競技が実施されました。各選手は、午前8時30分より午後4時45分まで、標準時間6時間40分、打切時間7時間の持ち時間で別記(9頁)の競技課題図と取り組みました。

競技課題は、競技の内容がわかるように約2ヶ月前に「参考課題」が公表され、さらに変更されたものが「当日公表課題」としてはじめて選手に公表されます。配管競技は、3種類の管、①金属管では配管用炭素鋼鋼管(白)、②非鉄金属管では配管用銅管(M管)、③非金属管では給水・排水管として塩化ビニル管(HIVP、VU)と新たにポリブテン管を用いて、給水・給湯・排水配管を課題図の通り加工するものです。競技材料の支給・確認も競技開始直前に行われ



(写真左から) 技術部会の鹿野理事、松本委員長、中川副会長、和田副部長

るのが大きな特徴で、選手の緊張もより高まったようです。注意事項などを聞いたのち、各自の競技ブースで待機して8時30分の競技開始のホイッスルとともに当日配布の課題図を見つめて曲げ加工などの原寸図を作成し始めました。その後、作業パネルに示された「基準墨」を元に支持金具を取り付ける選手や銅管の加工を始める選手、鋼管の加工を始めるなど配管の前加工に専念し取付けは全て後回しにする選手など「作業手順」は各人各様でそれぞれ個性があります。

緊張高まる公開水圧審査を経て順位が確定

競技終了後は、選手立会いのもと競技委員による公開水圧審査が行われました。各選手は、自分が作り上げた作品の前で待機して順番に審査を受けましたが、各選手の顔からは緊張感が窺えました。水圧審査が徐々に進み、漏水がなくなうまく仕上がった選手だけでなく、惜しくも漏水があった選手にも会場から温かい拍手が上がりました。

その後行われた測定審査で精度等を測り、主催者による成績会議において順位が確定し、10月24日(月)の閉会式において、関根雄太選手(東京都・西原工事(株))が金賞・厚生労働大臣賞に輝き、第44回技能五輪国際大会(平成29年10月ア

ラブ首長国連邦・アブダビ)の参加資格を取得しました。

全管連会員組合が運営に協力

主催者からの要請に基づき、本会より松本技術委員長が競技主査、網田健志氏(東京都・連)が競技委員として課題作成、競技実施、採点審査等を行いました。また、競技運営について山形県連(山形市、天童市)にご協力を頂いた。

なお、本会技術部の中川副会長、和田副部長が視察して選手を激励しました。また、平成29年に開催予定の栃木県より黒澤副会長(栃木県団長)も視察しました。

次回の大会は、来年秋に栃木県下で開催される予定です。



優勝した
関根雄太選手

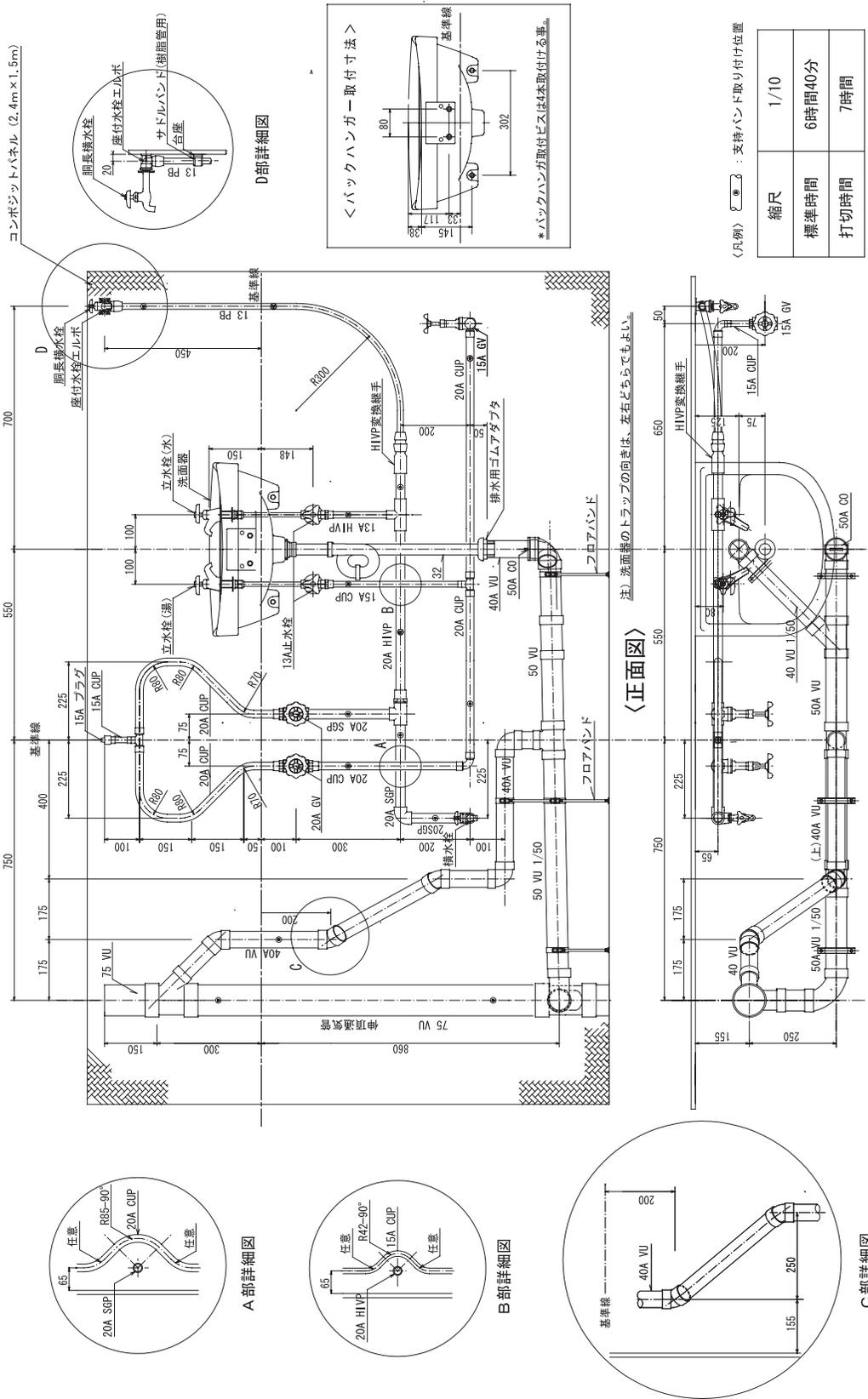
入賞者一覧(敬称略)

順位	都道府県名	選手氏名	所属先
金賞	東京都	関根雄太	西原工事(株)
銀賞	山形県	佐藤光優	※三和メイテック(株)
	東京都	箱石 翼	西原工事(株)
	山口県	三澤亮太	(株)桐田商会
銅賞	山形県	清野飛翔	※弘栄設備工業(株)
	新潟県	星野玲於	※(株)千代田設備
	新潟県	田中健太	※(株)千代田設備
敢闘賞	岩手県	上部俊貴	岩手県立産業技術短期大学校水沢校
	茨城県	関谷 淳	(株)関電工 東関東営業本部 茨城支社
	茨城県	江田勝彦	(株)関電工 東関東営業本部 茨城支社
	長野県	花岡瑞綺	※ルピナ中部工業(株)
	島根県	深田 亨	イマックス(株)
	栃木県	碓 尚也	栃木県立宇都宮工業高等学校
	沖縄県	屋宜宣好	沖縄県立南部工業高等学校
	岩手県	高橋伸弥	岩手県立産業技術短期大学校水沢校
岡山県	川部比菜	※五洋工業(株)	

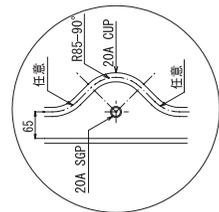
※ 印は、本会会員企業

第54回技能五輪全国大会「配管」職種 当日公表課題

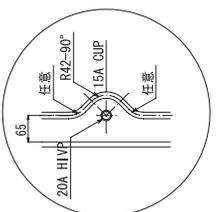
当日公表



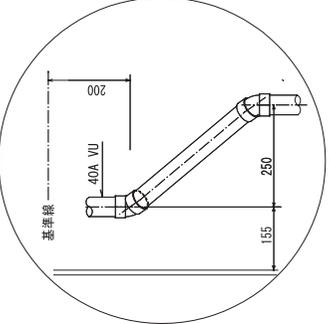
コンポジットパネル (2.4m x 1.5m)



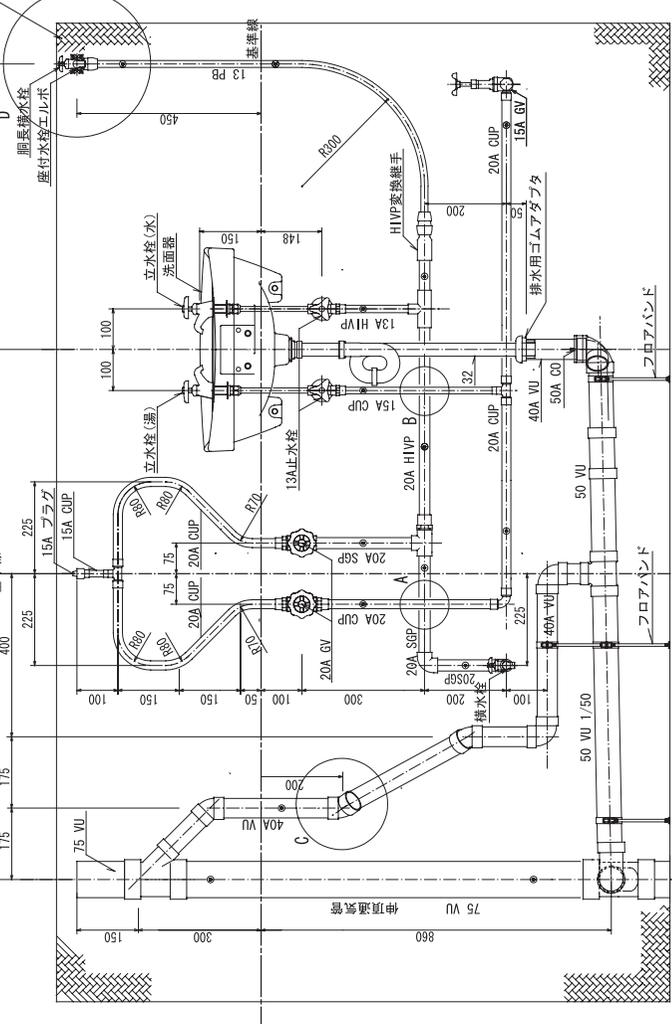
A部詳細図



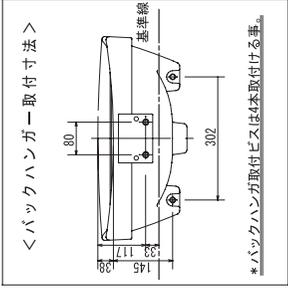
B部詳細図



C部詳細図



D部詳細図



<バックハンガー取付寸法>

<正面図>

注) 洗面槽のトラップの向きは、左右どちらでもよい。

<平面図>

<凡例> : 支持バンド取り付け位置

縮尺	1/10
標準時間	6時間40分
打切時間	7時間